記者発表資料

令和７年６月２４日
東北土木技術人材育成協議会

令和７年度 官民共同 若手技術者育成
～基礎技術講習会（土木）開催～

社会資本整備に関連する構成機関が相互に連携・協力し、持続的に担い手を育成することを目的として、今年度も基礎技術講習会（土木）を開催します。

将来にわたり高品質な社会資本形成のための**担い手育成を目的に、関係機関の連携と協力**のもと、土工や構造物設計、UAV 操作や ICT 活用、インフラ DX などの技術を習得するため、官民共同の講習会を平成29年度より実施しています。

東北土木技術人材育成協議会では、今年度も若手技術者の基礎的な土木技術力向上を目的とした講習会（土木）を開催します。
なお、本講習会は「土工」「アスファルト舗装」「コンクリート」「構造物設計」の4コースからなり、１泊２日で順に実施するものです。

令和7年度 基礎技術講習会（土木）

第1回　令和　7年　6月30日（月）～　7月　4日（金）
第2回　令和　7年　9月　1日（月）～　9月　5日（金）
第3回　令和　7年10月27日（月）～10月31日（金）

■ 基礎技術講習会（土木）　第1回

日時　：　令和7年6月30日（月）13：20～7月4日（金）12：00
※各4コースとも上記の順に1泊2日で実施します。
（例：土工は30日・1日、アスファルト舗装は1日・2日で実施）

場所　：　東北地方整備局　東北技術事務所
（講義）　東北インフラDX人材育成センター
（実習）　品質試験棟
住所　宮城県多賀城市桜木三丁目６－１

※ICT・UAV、遠隔操作式バックホウ講習会については、今後改めてご案内いたします。
※インフラDX講習会については、6月9日に記者発表しております。

〔　発表記者会 ： 宮城県政記者会、東北電力記者会、東北建設専門紙記者会　〕

問　い　合　わ　せ　先

東北土木技術人材育成協議会事務局

国土交通省　東北地方整備局　東北技術事務所

電話　022－365－8211（代表）

総括技術情報管理官　松芳　健一（内線：301）
技術情報管理官　　河合　雅史（内線：303）

（参考）

■「東北土木技術人材育成協議会」とは

良質な社会資本の形成に資するため、社会資本整備に関連する構成機関が相互に連携・協力し、持続的に担い手を育成することを目的として、平成29年3月に東北地方整備局、建設、測量・コンサルタント、建設機械業界の6団体による「東北土木技術人材育成協議会」を発足しました。

その後、地方公共団体などを含め、現在は18団体までに組織が拡充されています。

＜ 参加団体 ＞

国土交通省東北地方整備局、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、仙台市、(一社)日本建設業連合会　東北支部、(一社)東北建設業協会連合会、(一社)建設コンサルタンツ協会　東北支部、(一社)東北測量設計協会、(一社)日本建設機械施工協会　東北支部、(一社)東北地質調査業協会、(一社)日本道路建設業協会　東北支部、(一社)東北建設マネジメント技術協会、(一社)東北地域づくり協会、(一社)OCF　東北部会

＜ 設立趣旨＞

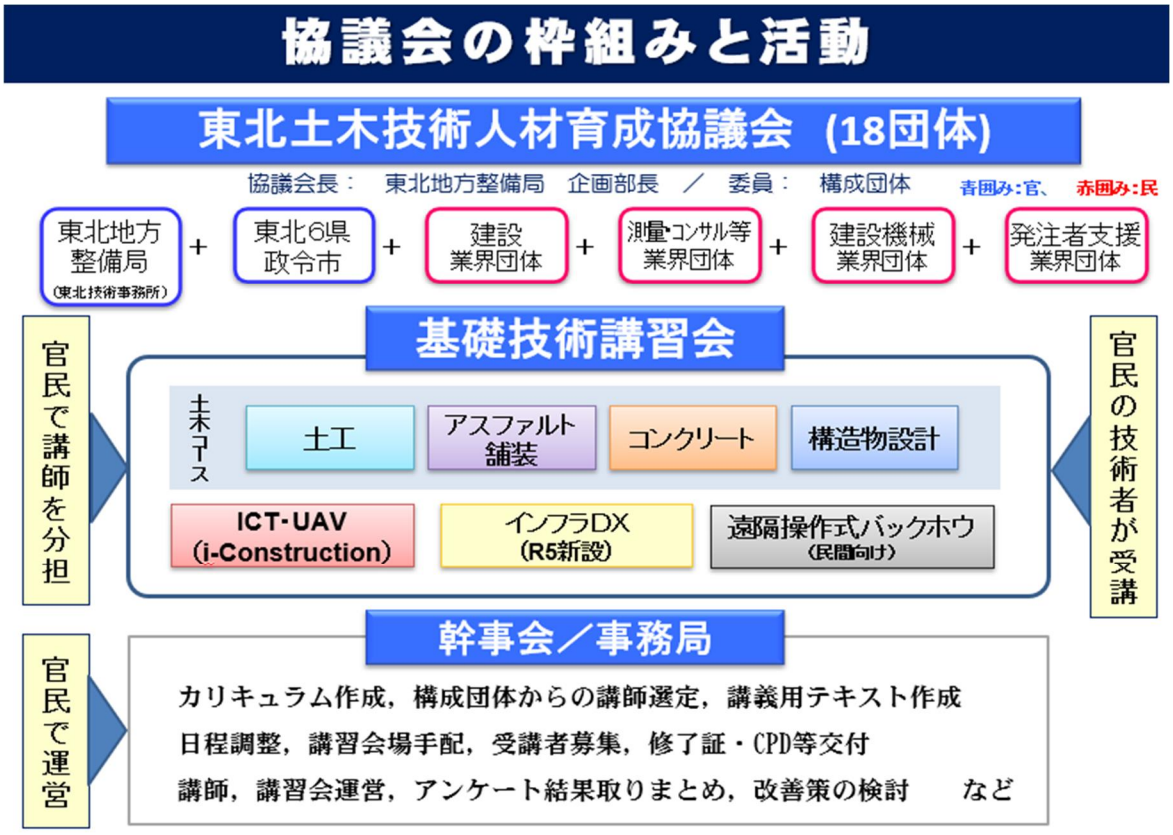
◇社会資本は生活や経済活動を行う上で重要な役割を担い、長期にわたり利用される高品質・高耐久とすることが求められる。

◇良好な社会資本の整備・維持管理のための専門分野は多岐にわたるため、施工・監督・検査などには幅広い知識が必要。

◇さらに「i-Constrution」 をはじめとする新たな技術に関する多様な知識も求められる。

◇将来を担う若手技術者に対しては、早い段階で知識と技術力の養成に資する講習を行う必要がある。

◇各団体が協力・連携をすることで、より総合的な知識と技術力の教授が可能となる。



■ 令和6年度 基礎技術講習会（土木）開催状況



◇土工・アスファルト舗装・コンクリート・構造物設計の4コースを1講習につき1泊2日で実施。

◇年3回実施し、受講者数は延べ341名（官173名、民168名）。